



## 「僕ら 川小オーケストラ」

19P

明日へのスマイル  
笑顔になる時間を

11P

町政を問う  
学校建て替え

5P

1月第2回会議  
スキー場閉鎖へ

2P

デジタル化推進  
タブレット導入



3月会議から

# タブレット導入

# 紙からデジタル化

いよいよ議会も

<p>いろいろできて、ちょ～便利！</p> <p><b>タブレットでDXが加速！</b></p>	<p>会議資料が整理されて見やすい！探しやすい！</p> <p>会議に使用する大量の資料がタブレット1台で閲覧可能</p>	<p>過去の資料もいつでも見れる！</p> <p>検索機能にも対応過去の資料も探しやすい</p>
<p>A4サイズの大画面！</p> <p>拡大、縮小で小さい文字なども確認できる</p>		<p>リモート会議にも対応！</p> <p>招集できない緊急時でも会議を開くことも可能に</p>
<p>外でも使える！</p> <p>屋外でもインターネットを活用した情報収集や記録もできる</p>	<p>ペーパーレス！</p> <p>電子化で紙資料を削減し環境にも配慮</p>	<p>メッセージアプリで連絡！</p> <p>迅速な連絡が可能に</p>



議会では、大きな災害や感染症の蔓延などが発生した際にも機能の維持ができるよう、タブレット端末を導入しました。タブレット端末の導入により、ペーパーレスの推進や業務の効率化、オンライン会議の活用などが可能となり、議会改革としてのICT化が一層図られます。タブレット端末の運用は本年3月会議から開始します。

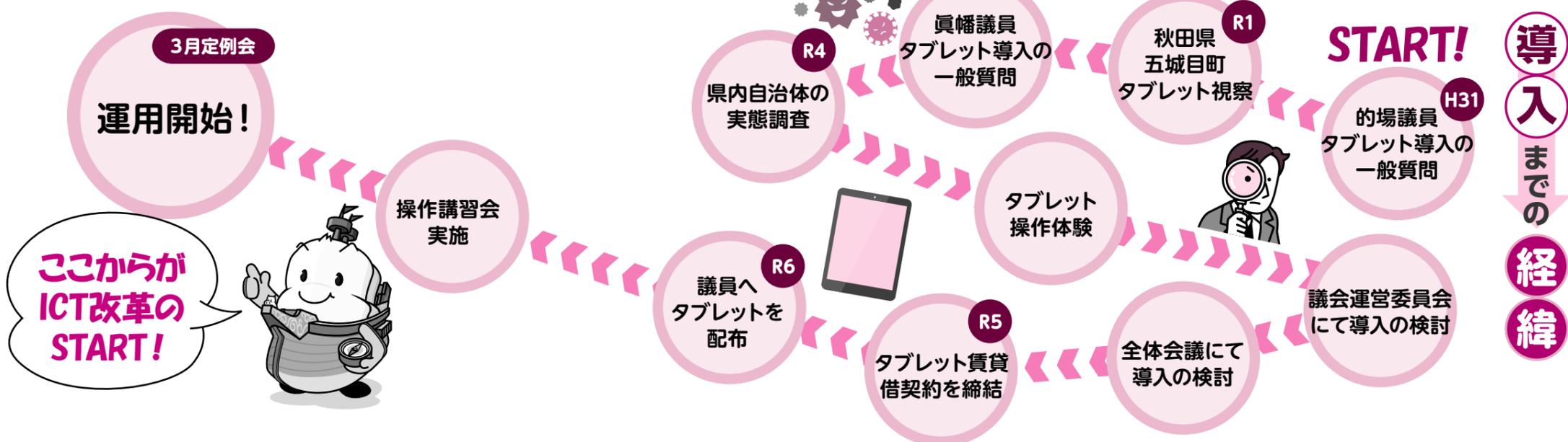
▲基本操作をしっかりと

**今後の利用**

タブレットの操作には「慣れ」が必要です。毎日触れることで操作性の向上に取り組み、議員活動に欠かせないツールとして使いこなせるように努力します。



▲研修にもチカラが



# 11月会議

# 12月会議

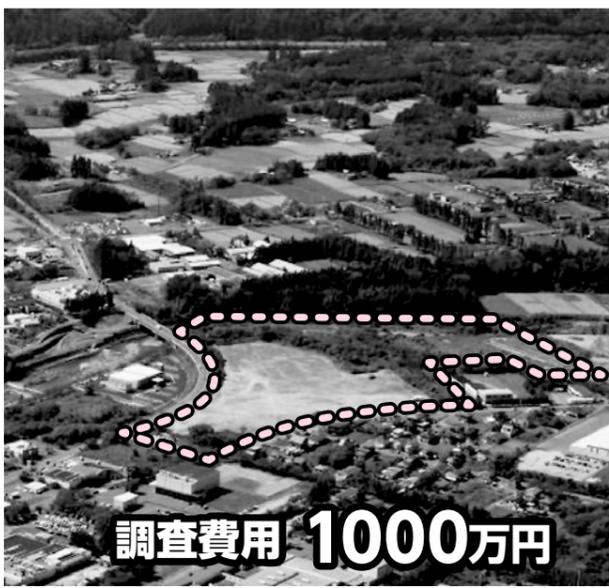
**温泉事業特別会計  
補正予算  
ポンプ故障対応**

■補正内容  
青根温泉源泉ポンプの一つが故障し、送湯ができなくなったことから、更新工費を補正するものです。



**一般会計補正予算  
工場適地の地下水調査**

■補正内容  
北川原山地区の工場適地に企業誘致を推進することを目的に、地下水等の状況を調査委託するものです。



会議は、11月13日、12月5日から8日それぞれ開きました。  
補正予算案などの議案が提出され、原案どおり可決しました。  
ここではその一部を紹介します。

## 人事案件

**固定資産評価審査委員(再任)**



おかだ こういち  
岡田 幸七 さん  
(野上)

令和5年12月24日から  
令和8年12月23日までの  
3年間



## 給与・手当額を改正

■提案理由  
人事院勧告に伴い、議員、町長などの特別職、一般職、会計年度任用職員の給与及び手当を増額するため、関連する条例を改正するものです。

職 種	改正内容	
議 員	期末手当 年間3.40月(0.10月増)	
町 長	給与847,000円 (2,000円増)	期末手当 年間3.40月 (0.10月増)
副 町 長	給与611,000円 (1,000円増)	
教 育 長	給与540,000円 (1,000円増)	
一 般 職	給与 平均1.1%増	期末・勤勉手当 年間4.50月 (0.10月増)
会計年度 任用職員	勤勉手当を新設	

# 1月会議

会議は、1月9日、18日にそれぞれに開きました。  
補正予算案などの議案が提出され、原案どおり可決しました。  
ここではその一部を紹介いたします。

**じゃっぽの湯  
休業補償に  
155万円**

■補正内容  
青根温泉の源泉ポンプ故障により、じゃっぽの湯が11月9日から12月2日の24日間休業したため、補償金を補正するものです。

# スキー場 閉鎖へ

■補正内容  
雪不足およびスキー人口の減少等により営業継続が困難な状況から、スキー場閉鎖に伴う資金援助金を補正するものです。  
**4400万円**

## 質疑

**決断の理由は  
的場議員**

**問** 本来であれば、2、3年かけて閉鎖の準備を進めるべきだと思えますが、このタイミングで決断した理由は、  
**答** 町長

**苦渋の決断**

**答** 早い段階で方向性を示して皆さんに理解していただく。そして、跡地をどうしていくか議論していかなければならぬと判断しました。人工降雪機を使っても営業できないのであればと、苦渋の決断をしました。

**辺地債の返済義務は  
眞幡議員**

**問** 閉鎖になった場合、辺地対策事業債の返済義務はあるのか。  
**答** 町長

**該当にはならない**

**答** 閉鎖した場合でも、スキー場としての用途は生きているので、強制償還の該当にはなりません。

**夏場の営業を  
眞幡議員**

**問** 夏場だけでも営業をすべきでは。  
**答** 町長

**今シーズンで**

**答** まずは、3月いっぱいまで今シーズンを楽しんでいただき、今後のことは、跡地のことも含めてしっかり検討していきます。

**支援を増やしては  
佐藤(昭)議員**

**問** 事業者は、長年川崎町の顔であるスキー場の経営を頑張ってきました。事業者にもっと支援を増やすべきだと考えていますが、町長の考えは。  
**答** 町長

**答** 行政としての線引きもありますので、支援できるところは計上したものがすべてだと思います。

**残債の処理は  
佐藤(昭)議員**

**問** 令和2年に貸付した残債の1900万円の今後の処理は、  
**答** 町長

**法令に従って**  
地域振興課長  
**答** 町として法令に従ってしっかり対応していきます。

# 雪不足により継続断念

※辺地対策事業債…辺地とその他の地域の格差是正を図るため、公共的施設等の整備事業に利用できる地方債。(11ページに関連記事)



さとう しょうめい 議員  
佐藤 昭光



質問・答弁の動画は  
←こちらから



▲体質改善が必要では

**問** 民営化など、病院の体質改善のため検討委員会を設置しては。  
**答** 町長 民営化の考えはありません。検討委員会でも、病院長や副院長、議会と一緒に意見交換する場は必要だと考えます。

## 問 再エネ税との整合性は

## 答 理念など同じと認識

**問** 再エネの適地についてどう考えますか。  
**答** 町長 禁止・抑制区域でなければ適地となり得ますが、個別に対応していくこととなります。

**問** 町の条例はその後活かされていますか。  
**答** 町長 事業者等から相談がある、禁止・抑制区域の説明や事業説明会の進め方を意見交換しており、活かされていると考えます。

**問** 宮城県は再生エネルギー対策で、令和6年度に新税を導入します。税収よりも適地誘導が目的です。4月に改正した町条例との整合性は。  
**答** 町長 町の条例は環境とエネルギー事業との調和を目指しており、理念などは同じ認識です。



▲適地に誘導していく

**問** 令和4年度決算で累計額は12億9000万円です。また、昭和58年度決算以降の記録しかなかった、他会計繰入金等がなかった場合、87億7000万円となります。  
**答** 町長 一般会計からの負担金2億9612万円、出資金5388万円を合わせて3億5000万円となります。

**問** 累計赤字額は。また、町の支援がなかった場合の総額は。  
**答** 町長 令和4年度決算で累計額は12億9000万円です。また、昭和58年度決算以降の記録しなかった、他会計繰入金等がなかった場合、87億7000万円となります。

**問** 令和5年度の繰入れの見込額は。  
**答** 町長 一般会計からの負担金2億9612万円、出資金5388万円を合わせて3億5000万円となります。

**問** 町から多額の繰入れを受けての赤字です。理由は。  
**答** 町長 患者数が増加したこと、新型コロナウイルス患者用の病床を確保したことによる県補助金の交付を受けたことが大きな理由です。

## 問 病院の赤字累計額は

## 答 4年度決算で約13億円

国保川崎病院が、令和4年度決算で3633万円の赤字となりました。これは町の仕送りのおかげであり、なかった場合の累積赤字額や今後の改善点について伺います。



## 9人の議員が質問

# 町政を問う

一般質問は、町政全般の執行状況を質し、施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

- ◆ 佐藤 昭光 議員 ..... 7
  - (1) 国保川崎病院の現状
  - (2) 再生可能エネルギー対策
- ◆ 眞幡 善次 議員 ..... 8
  - (1) 発達障がい児の支援と対応は
- ◆ 佐藤 清隆 議員 ..... 9
  - (1) 児童教室の運営について
- ◆ 佐藤 新一郎 議員 ..... 10
  - (1) 役場職員駐車場使用料検討を
- ◆ 沼田 長一 議員 ..... 11
  - (1) スキー場の撤退について
  - (2) 学校建て替えについて
- ◆ 的場 要 議員 ..... 12
  - (1) 宮城オルレ事業導入について
- ◆ 大沼 大名 議員 ..... 13
  - (1) 少子高齢化・人口減少について
  - (2) 外国人の移住・定住について
- ◆ 高橋 義則 議員 ..... 14
  - (1) ジャズコンサートの開催について
  - (2) 川崎産そばの生産・販売拡大
- ◆ 遠藤 美津子 議員 ..... 15
  - (1) 不登校対策について
  - (2) 婦人防火クラブの在り方



まはた ぜんじ 議員 眞幡 善次



質問・答弁の動画は  
←こちらから

## 発達障がい児の受入れ体制は

## 線密な連携体制を強化

発達障がい児を抱える保護者が、安心して受入れ体制を整える事が重要です。また、きめ細かな支援を行うためには、町の方向性を明確に示すことも必要不可欠です。



▲連携体制の強化を図る

**問** 発達障がい児の人数を把握していますか。

**答** 町長 発達障がい児を明確に線引きすることは非常に難しいとされていますが、療育手帳等の所持者は14名です。また、保健福祉課で療育的関わりを持ち経過観察中のお子さんを加えると40名ほどです。

**問** 町に受け入れ先はありますか。

**答** 町長 町内で発達障がい児を受け入れている事業所等はありません。町外の放課後等デイサービスへの支援や心身医療費助成、自立支援給付など障害福祉サービス等を利用していただいています。

**問** 児童福祉法に基づく、発達障がい児に対する町の支援体制と対応策は。

**答** 町長 保育、教育、保健、福祉機関などの連携体制で、保護者へのきめ細かなフォローや専門施設との調整を行っています。また、町外の放課後等デイサービスに通う家庭へは、移送サービスの提供等、負担軽減に努めています。

**問** 発達障がい児を抱える保護者の負担を少しでも軽減できるような町として対策を取らなければなりません。受け入れ施設を持つ考えはありませんか。

**答** 町長 現状では施設を持つのは難しいです。しかし、お子さんに関わる保育、教育、保健、福祉機関などの線密な横の連携体制を強化しながら、個々に応じた支援を行っていきます。

**問** 幼少期の教育、保育は非常に大切であり、発達障がい児の特性に合った学びの機会を提供する必要があると思います。学校にも行けず、受け入れ先も決まらず、悩んでいる保護者がいることを認識していただきたいが、考えは。

**答** 町長 困っている方々がいることを再認識しました。予算と対応できる人を確保していきたいと思っています。

## 問

### 事業の質を上げる取り組みを

## 答

### 委託費増を含め検討

各小学校に児童教室が設置され、約半数の児童が登録し利用しています。子育て世代にとって仕事をするうえで欠かせない施設であり、子どもたちにとって重要な居場所です。

**問** 現在の運営体制はどのように行われていますか。

**答** 教育長 授業終了時から午後6時までですが、保護者の事情により30分の延長が可能となっています。業務に従事する支援員については、業務委託している社会福祉協議会の職員です。



▲子育て世代には欠かせない

**問** 要望等による運営体制の見直しは行っていましたか。

**答** 教育長 保護者の就労形態の多様化や子育て支援の一助として、令和4年4月より開設時間を30分延長することができるよう、見直しを行いました。

**問** 業務に従事する児童支援員のスキルアップなどの研修は行っていますか。

**答** 教育長 保育上の課題となっている発達障がい児への理解をはじめとした支援の在り方などに対して、自主的な勉強会のほか、地域研修会などに参加し、理解を深めています。

**問** 支援員には高い専門性が求められ、重要な役割を担っています。さまざまな委託費が増額するなか、支援員の委託費は横ばいです。事業の質を上げ、意識の向上を図るために、人件費も増額が必要と考えますが。

**答** 町長 委託先からも人件費について陳情を受けています。支援員に限らず人をしっかりと確保していくためには、ベラスアップは必要だと考えています。

**問** 子育て支援の充実、健全育成の居場所確保、専門性が求められる受け入れ体系の充実には、こども園と同じように安心して預けられる場所として必要不可欠です。予算を投入し、事業の質を上げる取り組みが必要では。

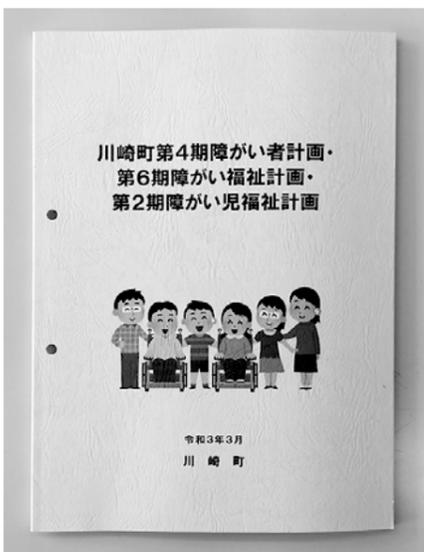
**答** 町長 どうやって人を確保するのか、待遇面を改善するだけではないのかも含め、しっかりと捉えていきます。当町にとってどのような政策が必要なのか、原点到って進めていきます。



さとう きよたか 議員 佐藤 清隆



質問・答弁の動画は  
←こちらから



▲支援につなげる



▲質を上げるため委託費増を



ぬまた ちょういち  
沼田 長一 議員



質問・答弁の動画は  
←こちらから

地球温暖化が進んで降雪量が少なくなっています。スキー人口も減っている状況から、経営に対するリスクが増加していると考えます。開場から34年経過し広告塔の役目は果たしたと思っております。

**問** スキー場の撤退についてはどう考えていますか。  
**答** 町長  
スキー場に限らず町にとって不利益と判断される施設であれば、運営しないという選択もあり得ます。雪不足の事態となれば、適切な時期に撤退の判断をする必要があると理解しています。



▲雪不足は深刻な問題

## 問 小中併設校の考えは

### 答 課題等の調査検討を

**問** 児童生徒減少に伴う統廃合と川崎小学校建て替えの優先順位は。  
**答** 町長  
川崎小学校の建て替えと学校再編統合は本来別々の問題ですが、当町の場合両方の課題を関連づけながら対応していかなければならないと考えています。

**問** 児童生徒減少に伴う統廃合と川崎小学校建て替えの優先順位は。  
**答** 町長  
部活動のこともありますが、まずは地区に出向き説明が必要ですが、教育長ともしっかり案を練って議会、区長の皆さんに賛同をいただかなければなりません。しかし、少子化が進んでいるので、統合を急がなければなりません。



▲もうすぐ遷居を迎えます

## 問 撤退についての考えは

### 答 適切な時期に判断を

**問** 税金が減ることが予想されるなか、経営の存続は可能ですか。  
**答** 町長  
辺地対策事業債を有効に活用しながら、施設の維持管理を行っていくば可能と判断しています。

**問** 指定管理者の現契約終了後の再延長は考えていますか。  
**答** 町長  
現時点では再度指定管理施設として運営していきたいと考えています。

## 問 賃借料の一部を負担しては

### 答 賛同が得られれば

役場駐車場が整備され、町民の利便性が向上しました。町民から「これを機に、主に通勤で利用している職員から土地賃借料の一部を負担してもらってはどうか」と意見が出ています。

**問** 役場裏側の駐車場は借地です。どのような内容ですか。  
**答** 町長  
2名の所有者から宅地4筆、計3418㎡を借地して利用しています。

**問** 借用地した経緯と支払額、買収の考えは。  
**答** 総務課長  
経緯はわかりませんが、昭和40年から50年代頃に借用しています。年間使用料は160万円1000円です。



▲普段は職員駐車場

**問** イベントなどで来庁者が多くなる場合の対応は。  
**答** 町長  
職員の駐車を制限し、一般来庁者を優先しています。1月から11月までに60日制限しており、そのうち確定申告では35日間制限しました。制限中は、川崎中学校やこども園の駐車場などに移動してもらっています。

**問** 職員等に使用料の一部を負担してもらおう考えは。  
**答** 町長  
公共交通機関等の事情から、マイカー通勤は必要不可欠です。職員の福利厚生等を考慮すれば、今のままが妥当なものと考えますが、課長会議などで意見交換しながら、賛同意見があれば導入したいと思っています。



▲車輛倉庫としても...



さとう しんいちろう  
佐藤 新一郎 議員



質問・答弁の動画は  
←こちらから

**問** 具体的な用途は。  
**答** 町長  
防災倉庫、バス2台の車庫、資材・車両倉庫、さらに冬季の除雪機械2台、公用車24台、普通車78台などの駐車用地となっています。職員の通勤車は、普段は普通車部分に駐車しています。

**問** 職員等に使用料の一部を負担してもらおう考えは。  
**答** 町長  
今のままでいいと考えていますが、地主さんと意見交換をする必要はあると思います。



おおぬま ひろし 大沼 ひろし 大名 議員



質問・答弁の動画は  
←こちらから



まとは かなめ 的場 議員



質問・答弁の動画は  
←こちらから

## 問 インバウンド事業として

## 答 バランスを考えながら検討

オルレとは、大韓民国（韓国）の特別自治道から始まった歩くプロセスそのものを楽しまるものです。2017年に社団法人済州オルレと宮城県が協定締結調印式を行い、2018年から「宮城オルレ」がスタートしました。



▲1300人が集まった開会式

**問** 当町での宮城オルレ導入については、5年前に検討が行われたと伺っています。当時は、イニシャルコスト、ランニングコストの兼ね合いから慎重に判断し、見送ったという経緯があったということですが。

**答** 町長

川崎町でも県内3番目のオルレコースの認定を目指しましたが、認定を受けなかった理由が2点あります。1点目は、コースについての要件。2点目は、財政負担に関することでした。



▲オルレ専用標識

**問** 今後、インバウンド事業に対して取り組みが必要だと考えます。当町ではこれに適した環境にあるのが、宮城オルレ事業ではないかと思いますが。

**答** 町長

本当にこの3年半、コロナでいろいろ対応に追われましたが、アフターコロナということで、改めて違った方向も必要です。インバウンドという面では、大きな意味を持つていますから、バランスを考えながら検討します。



▲あぜ道をゆっくり楽しんで

宮城オルレとは…

宮城県議会からの提案で、2018年に気仙沼唐桑・奥松島コースがオープンし、宮城オルレがスタート。その後、大崎鳴子・登米コースがオープンし、昨年11月11日に村田コースがオープンとなり、現在県内5つのコースがある。

## 問

## 周辺自治体との連携を

## 答

## 12団体で協議会を設立

町の人口ビジョン・総合戦略の予測値より、早めに人口減少が進んでいます。少子高齢化が更に進めば、今まで想定されていないような行政サービスが必要になります。

**問** 20年後には自治体職員が2割不足すると予測されています。業務内容の見直しなどが必要と考えますが。

**答** 町長

職員の減少傾向を補うため会計年度任用制度を活用しています。今後、人口減少に対応する行政の在り方について検討していきます。

**問** 人口減少の進行に伴い、周辺自治体との連携や協力体制が必要になると考えます。広域的な機能分担など、話し合いを進めては。

**答** 町長

令和7年度から、入札参加資格登録の一元化を目指し、仙南2市7町、仙南地域行政事務組合、亘理町、山元町の12団体で協議会を立ち上げたところです。

**問** 以前、町内でスーパーがなくなることがありました。高齢化で買い物が難しい地域のニーズに接すると、高齢者が日常の買い物などできるような取り組みへの検討が必要と考えますが。

**答** 町長

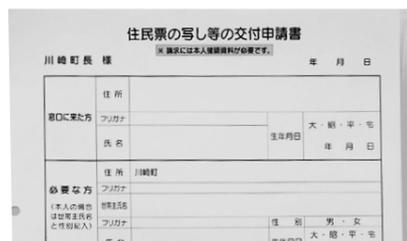
商売する人や職人さんがいなくなると、どんどん不便になります。一軒一軒回る行商の方は、とてもありがたい存在です。町として何かできることはないかなど、目を向けていかなければと思います。



▲広域的な取り組みを

## 問 申請書にふりがなを

## 答 記載例に入れて活用



▲ふりがなは読めるよ

**問** 町内に住んでいる外国籍の方は、140人程です。窓口の申請書の漢字にふりがなを入れてはいいかがか。

**答** 町長

申請書を拡大しふりがなを入れ、記載例として活用するようにします。漢字にふりがなを入れることで読むことができます。

**問** 町内に住んでいる外国人同士が、交流できるような機会を設けてはどうですか。

**答** 町長

外国の方の雇用先と意見交換をしながら、対応していきたいと思っています。



たかはし よしのり 議員



質問・答弁の動画は  
←こちらから

## 問 継続的な開催を

## 答 2年から3年間隔で

9月にジャズコンサートが開催されました。昼の部では小中学校の児童生徒を対象に行われ、多くの子ども達に感動を与えたと思います。夜の部では町民を対象に行われ、多くの皆さんが演奏を聴くことができました。



▲ジャズついでいなあ

**問** 来年度以降もジャズコンサートに限りず、継続的な開催は考えていますか。

**答** 町長  
児童生徒が音楽をはじめ、良質で生の芸術に触れることは、健全な心身の成長に良い効果があると考えています。これからも、2年から3年に一度は演劇や音楽などの体験的な学びを実施していきたいと考えています。

## 問 「川崎そば」の継続を

## 答 交付金を活用し作付を誘導

新そばや寒ざらしそばのスタンプリングが実施され、多くの愛好者が当町を訪れていました。しかし、水田活用交付金制度が変更され、町内のそば生産面積が減少している状況です。

**問** 飲食店は川崎産の新そばや寒ざらしそばを継続していくことを願っています。そばの生産量を上げるため、国に対して制度の見直しを働きかけるべきと考えますが。



▲毎年見たいこの景色

**答** 町長  
この制度については、生産者からも大変な制度だという声が聞こえています。もう少し働きかけを強めていかなければと思っています。  
**問** 生産者は交付金がなければコストが合わず、そば作りはできません。川崎産のそばを継続させるための政策を実施する考えは。

**答** 農林課長  
今後は、現在そばを生産している方々を中心に、交付金制度を最大限に活用しながら、そばの作付を推進していきます。これからは川崎産のそばが生産されるように支援していきたいと考えています。

## 問 保護者の会設置を

## 答 検討させていただきたい

文部科学省は、誰一人取り残さない学びの保障を社会全体で実現していく「COOLOプラン」を発表。不登校の児童生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な指導を行うため、多様な学びの場の確保などが重要です。

**問** 学校の授業をオンライン指導できる体制を確立すべきと考えますが。

**答** 教育長  
ケアハウスや学校内の別教室に一部の授業を配信することがあります。今後も可能な取り組みを実施していきます。



▲丁寧な不登校対策を

**問** 不登校の児童生徒の保護者への支援について伺います。

**答** 教育長  
現時点では、大河原教育事務所で実施している相談や話し合いの場を保護者に紹介しています。

**問** 不登校生徒の高校進学を支援する取り組みは実施していますか。

**答** 教育長  
本人や家族との面談を重ね、進路に対する意識の醸成や進路先の情報提供など、個人の支援を手厚く行っています。

**問** 町独自に保護者の会を立ち上げる考えはありますか。

**答** 教育長  
町として組織するか、大河原教育事務所に広域的に委ねるか、保護者からの要望を確認しながら検討していきます。

## 問 名称変更や位置づけは

## 答 情報交換しながら

**問** 近年は、女性の働き方や生活スタイルも大きく変化してきています。婦人防火クラブの名称変更や自主防災組織の一員として位置づけは。

**答** 町長  
どのような方法であれば負担なく参加できるかなど、役員の皆さんと情報交換しながら検討していきます。



えんどう みつこ 議員



質問・答弁の動画は  
←こちらから



▲時代に合った活動を

# 総務民生常任委員会

調査日 11月15日

## 調査事項① 地域活性化施設の現状 安全な管理体制を

### 【調査結果概要】

現在、地域活性化施設（旧小学校施設）は5校あります。賃借料は全て年額60万円と定めています。コロナ禍と物価高騰の影響もあり令和2年度

から5年度は免除とされています。契約期間は原則5年間として契約を結んでおり、施設の利活用については、区長と地域の協力も得ながら「まちづくり検討委員会」で検討、募集を行ってきました。た

だし、前川小学校については、令和4年5月より地元住民による活用事業がスタートしています。施設の維持管理、修繕は各事業者の負担とする契約です。



▲リニューアルした「イーレ！はせくら王国」

### 【委員会意見】

施設管理は、点検マニユアルを基に建物、グラウンド等の敷地内の管理を行っています。が、事業者との確認作業も含めて徹底してください。また、施設の老朽化も進んでいることから、これまでの修繕箇所について事業者と情報共有し、安全な

管理体制がとれるよう努めてください。施設利用については、担当課、事業者、教育委員会との協議を進め、町内の子どもが利用しやすい環境となるよう取り組んでください。

## 調査事項② 地球温暖化対策 要望活動や情報発信を

### 【調査結果概要】

平成23年1月、温室効果ガスの排出量削減の計画として「川崎町地球温暖化対策実行計画」を策定し、令和4年4月に第3次実行計

画へと繋がっています。この実行計画の目標達成に向け、平成23年度より「みやぎ環境交代金」を活用した施設整備（照明のLED化）などを実施しています。また、令和5年3月に

は二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「川崎町ゼロカーボンシティ」を宣言し、今後、具体的な取り組みと対策を進めることになっています。



▲目標達成に向けて

### 【委員会意見】

「みやぎ環境交代金」を活用し、段階的に照明のLED化事業を進めています。川崎町地球温暖化対策実行計画については、点検体制を確認し、各種取り組みへの周知徹底に努めてください。また、「川崎町ゼロカー

ボンシティ」の宣言により、民間事業所等も含めた二酸化炭素排出量削減を推進していく必要があります。今後、国、県からの交付金、補助金等を積極的に活用できるように、要望活動や情報発信に努めてください。

# 産業建設教育常任委員会

調査日 11月14日

## 調査事項① こども園等の現状 包括的な支援策を

### 【調査結果概要】

こども園は幼保連携型認定こども園として、0歳児から就学時前の園児162人に対して教育・保育を融合的に展開しています。また、こども園には子育て支

援センターを併設し、子どもと親が健やかに成長し心豊かに楽しく暮らせるよう、子育てへのサポートを展開しています。児童教室は各小学校区に設置し、保護者が労働などで日中家庭に

いない児童に対して、放課後などの生活の場として大切な施設となつています。富岡幼稚園は3歳児から5歳児の小規模園の特徴を活かした手と目が行き届く保育を展開しています。



▲心豊かに楽しく

### 【委員会意見】

こども園などの各施設では、保護者の声に耳を傾け、職員間での情報共有を図りながら、それぞれの役割、特性を生かした運営が展開されています。幼少期の教育はとても重要視されてきています。どの園児も不安なく小学校へ入学し新しい生活が送れるよう切れ目

のない包括的な支援策を講じてください。富岡幼稚園については、令和6年度の入園希望者が調査時点で1名でした。今後の園の在り方について、検討をはじめてください。

## 調査事項② 学校給食等の現状 バランスの取れた給食を

### 【調査結果概要】

平成2年度の学校給食共同調理場の供用開始以来、児童生徒には適切な栄養の摂取による健康の保持推進を図るため、給食を提供し

てきました。令和4年8月からは委託炊飯による温かい米飯給食を実施しています。川崎中学校の生徒を対象に実施した学校給食満足度アンケートでは、米飯の提供、

全体の味ともに満足と答えた生徒は90%を超える結果でした。なお、地場産食材は可能な限り取り入れており、11月から提供している川崎産ひとめぼれの新米は好評を得ています。



▲温かいご飯は好評

### 【委員会意見】

学校給食は成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスの良い豊かな食事を提供することが大切です。健康の増進、体位の向上を図ることはもちろんのこと、「食」に関する指導を効果的に進めるために重

要な教材としての役割を担っています。引き続き地場産食材を取り入れながら、成長過程の子どもたちのために栄養バランスの取れた給食の提供に努めてください。

# かわさき 明日のひと言

NPO法人ガンバ・ペッチャーの職員として、B&G海洋センター業務責任者、運動笑楽校・川崎町体育協会の事務局長を務める丹野浩伸<sup>ひろのぶ</sup>さんを紹介し、子どもたちと町民が笑顔になる時間をたくさん作りたいという思いで、スポーツ振興に取り組んできました。



▲みんなが笑顔になるように



▲プールで楽しくレッスン

11月13日にえぞこホール（大河原町）で第73回行財政研修会が、同月27日に宮城県自治会館（仙台市）で議会広報研究会が、また、令和6年1月16日に宮城県自治会館で議員講座が開催されました。参加議員の報告から一部を紹介します。

## 議員講座

1/16

# 学びを 議会に活かす

## 行財政研修会

11/13

### 人づくりこそ

大沼大名議員

情報の宝庫である地域の住民と深く接し、得た情報を議会が徹底討論する体制を作れば、情報は議会にこそ集まる。地域の担い手として、議会がいかに活性化するか、改めて学ぶ機会となりました。

日本は人口減少が進み、30年前と比べ出生率は30%減少しており、今後、生産と消費が成り立たない時代が来ると講師は予測しています。このような時代でも行政の仕事は残り、自治体間で協力し合う体制が必要になってくることでした。

若い人に地域に残ってもらうには「魅力ある人づくり」の教育が最も求められていると感じました。

### 深く共感

佐藤清隆議員

人口減少に関する多数の著書がある講師の話は、非常にリアルな内容でした。人口減少により過疎地域になるほど、生活コストが大きくなる悪循環に陥ります。それを防ぐために「戦略的に縮む」という講師の言葉に深く共感しました。

数十年後の未来を樂觀視することなく、数字から見える未来をどう築いていくか、議会と行政が一体となつて取り組まなければならぬと強く感じました。

## 議会広報研究会

11/27

### 見える化推進

場要議員

議会広報紙の編集を担当して13年ほどになります。当初の広報紙と比べると読みやすさはレベルアップしていますが、住民が事業や情報を理解しているかなどを考えれば、まだまだ改善の余地があります。

### 信頼づくりが大切

眞幡善次議員

開かれた議会を目指すには、住民との意見交換会を積極的に行い、信頼関係を構築し、議会の「見える化」を推進することが大切です。そのためには議会広報紙の役割は必要不可欠です。

今回の研修では、情報発信はもとより、議会活動の「見える化」も併せて推進しなければならぬと感じる研究となりました。



## 地元のために働きたい

Q B & G 海洋センターで働くことになったきっかけは。

A 以前から多種目スポーツでB&G海洋センターを利用していました。その頃に地元川崎のために働きたいと思っていました。業務委託をするようになったNPO法人からタスキングよくお声がけいただきました。

## プレーする・見る・支える

Q 川崎町のスポーツ振興にはどのように取り組んできましたか。

A スポーツをする人達が自発的に運営する時代になりました。大会、教室を自主運営できる環境を整備するために、総合型スポーツクラブ運動笑楽校を設立。プレーする、見る、支えるさまざまな関わり方があります。

## 地域で環境サポート

Q 子どもたちのスポーツ環境についての想いは。

A スポーツ少年団はこの15年で団体数、会員ともに半数以下になりました。中学校の部活動も含め、地域で環境を考え、サポートしていく時代です。今後、小さい町のスポーツ離れ、競技力アップは課題です。

## 指導者の確保と環境整備

環境整備

Q まちづくりに対して町や議会に要望はありますか。

A 次世代へ繋ぐための指導者の確保と、環



ひろのぶ  
丹野 浩伸さん(本荒町)

境を整備すること。そして、運動のため町内に来る人を受け入れる体制、町外に行く人へのサポートの充実が必要。スポーツ人口が増えれば刺激になり、笑顔になると思います。

# お知らせ

## 議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は2月28日(水)~3月8日(金)  
一般質問は2月29日(木)~3月1日(金)  
午前10時、再開の予定です。

### 議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は12月会議7人、1月会議3人、  
ライブ中継は191アクセスでした。)

詳しくは、議会事務局まで

TEL(0224)84-2301

## 掲載写真を募集します

本紙の「町の風景」(裏表紙)に掲載する写真を町民の方より募集します。写真をご提供いただける方は、議会事務局までご連絡をお願いします。



※ご提供いただいた写真が必ず掲載となるものではありません。ご理解のうえでご提供願います。

※写真のタイトルは議会広聴・広報委員会で決定いたします。

## 町の風景



能登地方に明るい光を

撮影場所:川内字天神前

撮影:町議会副議長 遠藤美津子さん

## 表紙の説明「僕ら 川小オーケストラ」

川崎小学校 学習発表会にて

撮影 広報モニター 佐々木 和人さん

## 議会映像配信

議会の様子が  
ご覧いただけます。



発行:川崎町議会  
編集:議会広聴・広報委員会

〒989-1592  
宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175番地1  
TEL(0224)84-2301・FAX84-6789  
E-mail:kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp

印刷:株式会社津田印刷